



9月3日発表のオーストラリアの政策金利据置きについて

金融政策について

オーストラリア準備銀行(RBA:中央銀行)は9月3日の金融政策決定会合において、政策金利であるオフィシャル・キャッシュレートを年率2.5%に据え置くことを決定しました。これは事前の市場予想通りでした。前回(8月6日)の金融政策決定会合では、0.25%引き下げ、年率2.5%にすることを決定しました。RBAは声明の中で、「現在の金融緩和政策は景気回復を促しつつ、インフレ目標を達成することができるものであり、当面適切である」との判断を示しました。次回の金融政策決定会合は10月1日の予定です。

今後の見通し

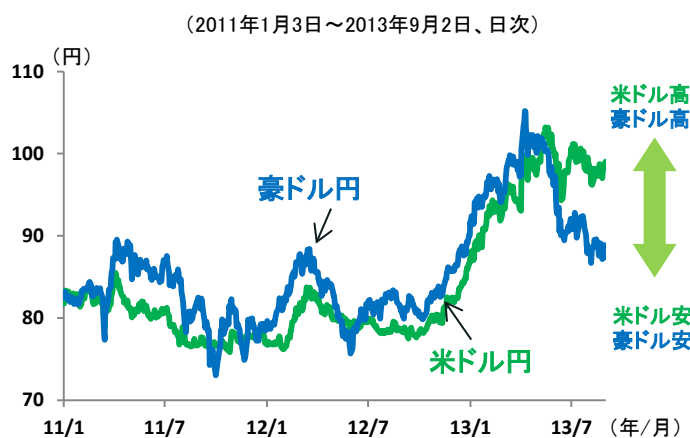
オーストラリアでは、9月7日に総選挙が行われます。6月26日に支持率が低迷していた与党・労働党が党首選を行い、ラッド前首相が新首相に就任しました。市場はラッド新首相が総選挙後にどのような景気刺激策を打ち出してくるかに注目しています。

オーストラリア経済を取り巻く海外の経済環境はまだ不透明ですが、オーストラリア経済のファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)は安定しており、金利水準も相対的に高く資源国通貨でもある豪ドルは、長期的には堅調に推移するものと見ています。金利については、さらなる再利下げの可能性もあり横ばいから低下、株式市場については、利下げの効果もあり、徐々に上昇してくるものと予想しています。

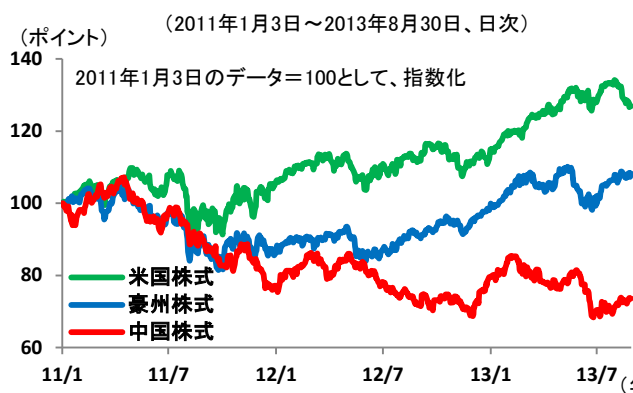
【図表1】 豪州政策金利と国債利回り(10年)の推移



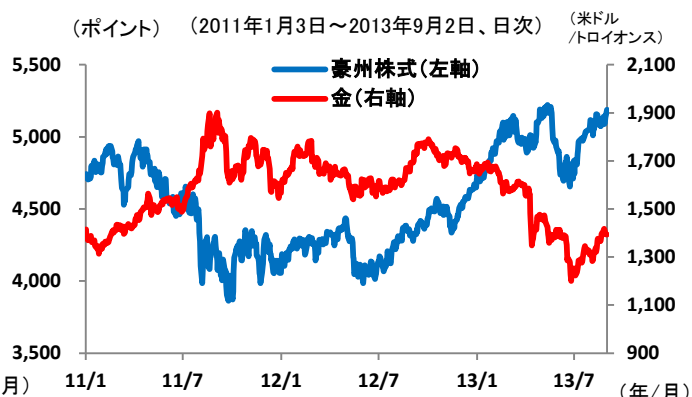
【図表2】 米ドル円と豪ドル円の推移



【図表3】 豪州株式、中国株式、米国株式の推移



【図表4】 豪州株式と金価格の推移



※豪州株式:S&P/ASX200指数、米国株式:NYダウ、中国株式:上海 総合指数

出所:ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。当資料のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。《審査確認番号H25-TB46》